

ピタゴラススイッチをつくってあそんだよ!

5歳児 ぞうぐみ



ぞうぐみにはビー玉転がしの既成玩具があります。最初は「どうやって組み立てるん?」と、保育士が作ったコースにビー玉を転がすことを楽しんでいましたが、徐々に友だちと協力し複雑なコースを作ってビー玉を転がすことを楽しむようになっていました。

活動の中で、数名が経験したであろう(右記)

- 様々な材料を使って何度も試したり工夫したりする楽しさ
- 友だちとイメージを共有し、伝えあいながら遊ぶ楽しさ

を、みんなで経験してほしいなとグループ活動でピタゴラづくりに取り組むことを提案してみました。



おもしろそう! やってみよう!!



そんなんむずかしいって。大変そうやしできひんわ。



様々な声があがりましたが、一回やってみよう!と取り組み始めました。

グループ活動スタート!



こんな箱見つけたけどどうやって使う?

いっぱい切ってつなげて長いすべりだいにしよう!

友だちと考えを共有しながら活動を進める場もあれば...



したいことあるのに全然聞いてくれへんねん



こんなことしたいねんけどどうしたらいいかなあ

上手いかないけないことがあって当然! グループの様子や悩みに応じて、時には保育士も一緒に考えながらも、出来るだけグループ内で活動が進むように関わっていきました。



面白いものを作ろうと制作活動に夢中... どんどんと形になっていきました。



ビー玉が転がるか確認中



うまくいかなければ、原因を考えてまた再挑戦! 何度も何度も試して、考えての繰り返しです。



そろそろ出来上がりかな?

おもしろいでしょ? こうやって転がっていくねん。



へえすごいなあ! そうやったらうまくいくか! おもしろいな!



もっとすごいをつくるぞ!!



先生! すごいのできたからみにきてや!

もっとくっつけるん? もっとくわ!



角度を変えると転がり方が変わることを発見!

もっと大きな箱とか使ってつくってみたいなあ

目的に向かって何度も試す中で、気づいたり成功した喜びを感じたりしていました。

そしてある日



トイレットペーパーの芯がたくさんあるけど何か作って遊べるかな?

様々な素材や廃材があることを知らせました。すると...



これ使っていいの? 貼ってみてもいい?



数名がやってみよう!とコースを作ろうと取り組みましたが...

ビー玉が変なとこに転がっていく! 速すぎてゴールにはいらへん!!

様々な大きさの箱を何度も入れ替えると...



ゴールまでころがせた!!



おさえとくからテープではってや!

協力

自然と子ども同士で助け合い、協力する姿が見られました。同じ思いや見通しをもっているからこそ!



グループごとにお知らせタイム! 工夫したところや見てほしいところを発表しました。



↑話し合いの前に内緒の相談タイム

箱を動かしたら、ビー玉が転がっていくねん。

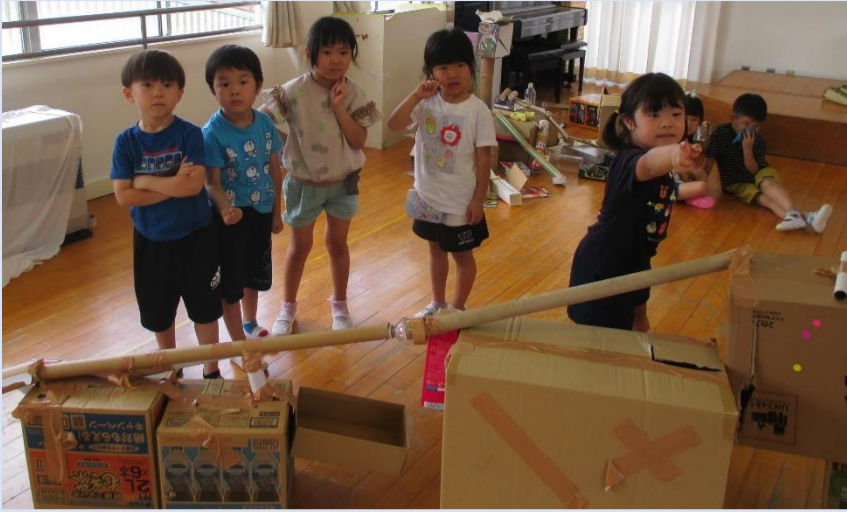


他グループの工夫や面白さに刺激を受けて、またさらに真剣モードの子どもたち。3日ほどで満足できるかなと思っていましたが、予想よりも熱中し完成に5日かけました。

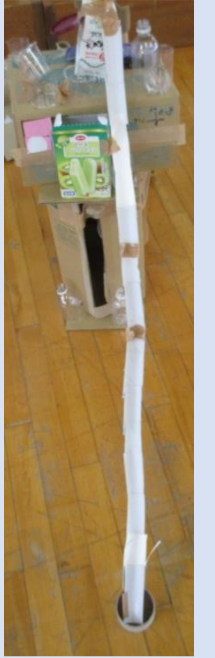
活動をすすめるうちに保育士に助けをを求める声よりも友だちと協力し出来上がった喜びを伝える声が増えていきました。

完成！5日かけてつくった大作をご覧ください！！

【いぬちーむ】



【しろくまーむ】



【さくらちーむ】



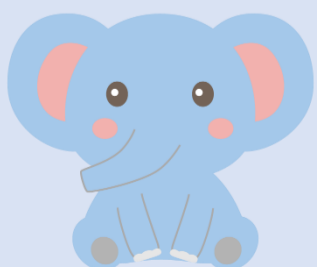
【わたあめちーむ】



【いーぶいーむ】



【みにーちーむ】



完成後は友だちのグループの作品でも数日かけて満足のいくまで遊びました。
遊んだ後はおかたづけ…大作ぞろいで名残惜しそうな子もいましたが、グループでじっくり時間をかけて作り、遊べたことに満足したのか片付けも楽しんで行っていた子どもたちです。
今後も子どもたちが「やってみたい!」と思えるような活動を通して、みんなで思いや考えを共有し、うまくいかないことも一緒に考えたり試したりしながら、様々な思いを感じたり、経験を積んだりできるように保育をすすめていきたいと思ひます。